



地域の宝を守る（竜王中学校）

県と市指定の天然記念物で、竜王山の国内最大級のハマセンダンの保全のために、竜王中学校の1年生が、竜王山公園協賛会や地域の方と一緒に清掃活動をしました。生徒は竹ぼうきや熊手などを使って落ち葉を掃き集めたり草を引いたりして、あっという間にきれいになりました。地域の方は、多くの中学生と清掃をしたり交流したりできて喜んでおられました。中学生も、自分たちが地域のために役立てたことや期待に応えられたことで、満足している様子でした。地域の宝物を大事にし、地域を愛する心を育む活動になりました。



保育園との交流会（出合小学校）

「出合小学校へようこそ」と1年生に出迎えられたねたろう保育園の年長さん。はじめに、児童が案内役になり、職員室や図書室などの学校探検をしました。続いて、1年生がどんぐりや段ボール、紙コップなどで作ったおもちゃランドで、けん玉やくじ引き、どんぐりごま遊びなどを楽しみました。1年生は、お兄ちゃん・お姉ちゃんぶりをしっかりと発揮していました。最後に、歌を一緒に歌ってから園児にあさがおの種をお土産に渡して、「一緒に遊べて楽しかった」「入学してくるのが楽しみ」と振り返りをしました。



合同クリーン作戦（小野田小学校）

これまで小野田小学校と地域交流センターの生涯学習クラブが合同で行っていたクリーン作戦が、小野田地区運営協議会主催で参加者を小野田地区全体に広げて行われました。学校で美化委員会が中心になってはじめての会を行った後、子どもたちは10のグループに分かれて公共施設が集まっているカルチャーロードや施設周辺に移動して、学校支援ボランティアや地域の方と張り切って環境美化に取り組みました。このような取組が、ふるさとへの愛着を育むとともに子どもたちの豊かな育ちを実現していくことにつながります。

